

日本国際開発学会 院生部会 020223

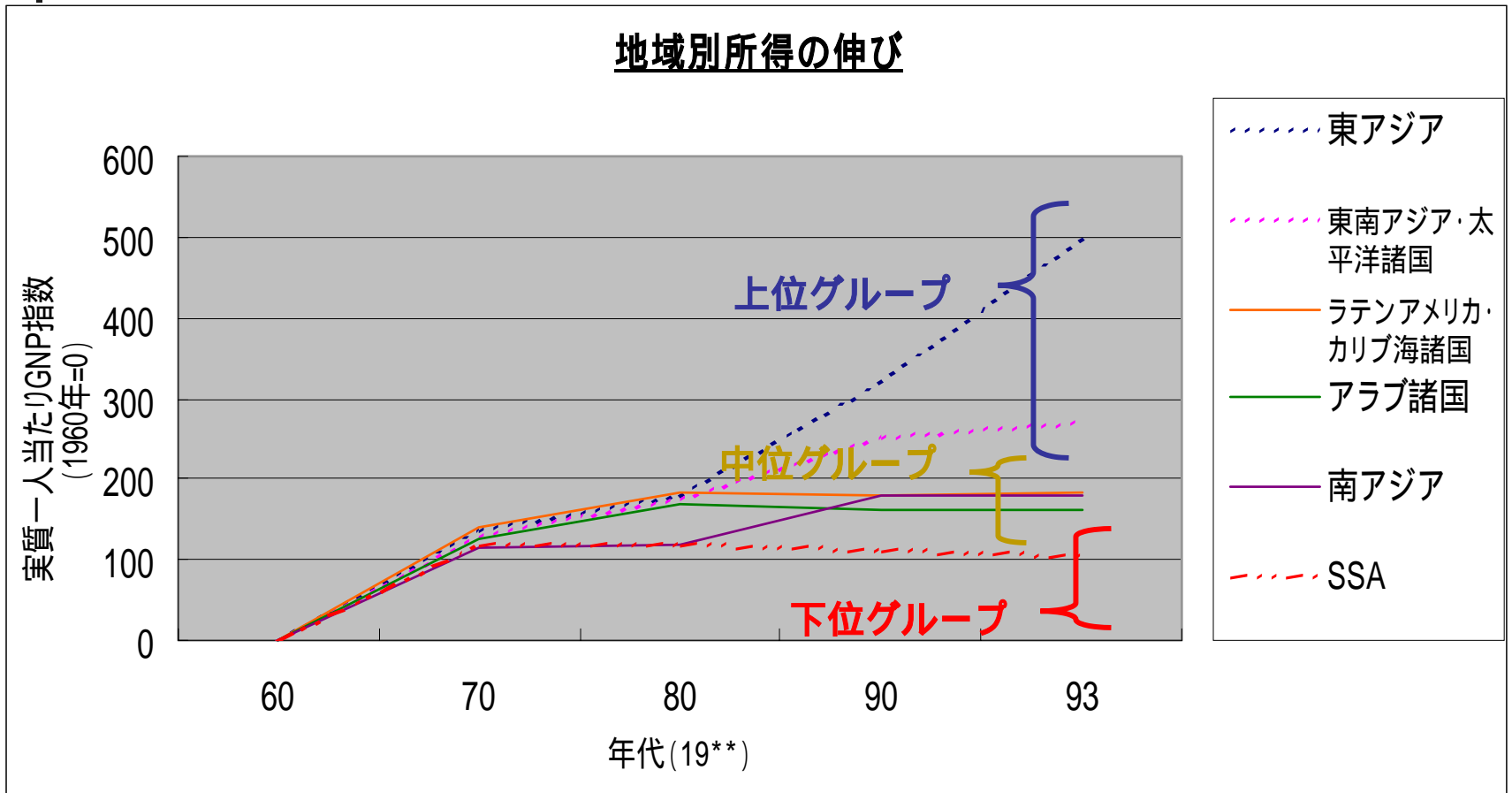
後発開発途上国における教育政策の課題

村上 あき

京都大学大学院 教育学研究科

比較教育政策学講座 教育行政学研究室

. 問題の所在



(出典) 長谷川雄一他『現代の国際政治』ミネルヴァ書房、1998、p.105より発表者作成



・「従来型アプローチ」の問い直し

-1. 「従来型アプローチ」の開発理念

「開発 = 近代化 = 経済発展」という前提の再検討

この前提の登場 S. Latouche

・1945年：国連憲章第55条

「生活水準の引き上げを促進すること」

・1949年：トルーマン大統領教書

「経済的に開発途上地域の国民の生活水準を
引き上げるための援助が必要である」

開発を経済指標で測るというイデオロギーの一般化



・「従来型アプローチ」の問い直し

-1. 「従来型アプローチ」の開発理念

「開発 = 近代化 = 経済発展」という前提の再検討

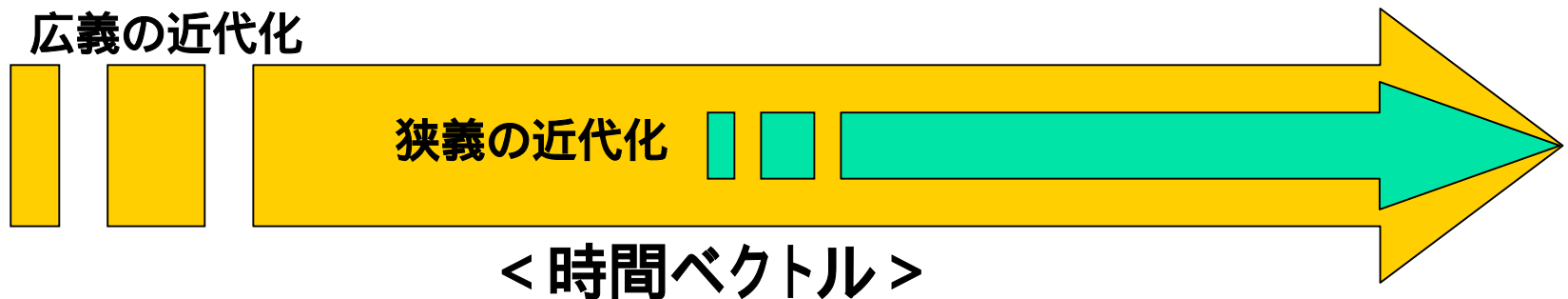
Developmentの意味と目的 I. Wallerstein

- ・ふたつの意味: 「死と再生産」生命体の過程としてのdevelopment
「より多くのもの」算数的意味合いをもつdevelopment
従来型アプローチは後者の意味を採用
- ・ふたつの目的: 国内的平等の達成
国際的先導者に追いつくための経済成長 矛盾?
従来型アプローチは後者の目的を重視

・「従来型アプローチ」の問い直し

-1. 「従来型アプローチ」の開発理念

- 生命体の過程としてのdevelopment
歴史の必然としての変化/近代化
“**広義の近代化**”
- 「従来型アプローチ」の開発理念
“**狭義の近代化**”



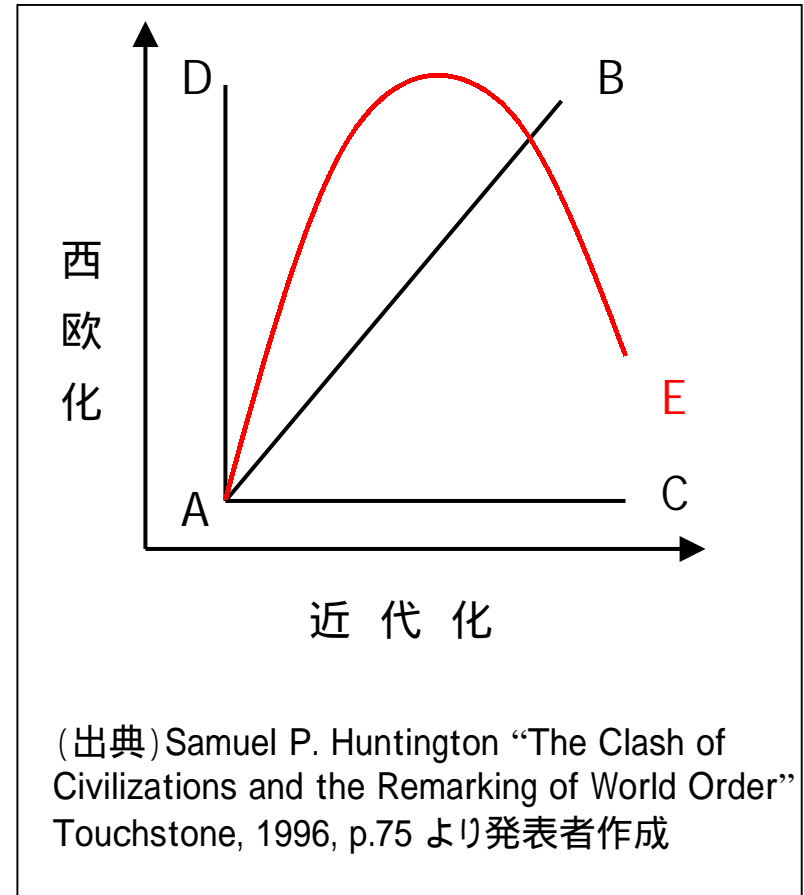
・「従来型アプローチ」の問い直し

-1. 「従来型アプローチ」の開発理念

“**広義の近代化**”とは？

S. Huntingtonの近代化論

- ・ Rejectionism : 定点A
- ・ Kemalism : A-B
- ・ Reformism : A-C
- ・ Painful Process : A-D





・「従来型アプローチ」の問い直し
-2. 脱「従来型アプローチ」

広義の近代化に基づく開発理念とは？

- ・狭義の近代化 = ある特定社会における価値観
- ・広義の近代化 = “人間存在”というレベルにおける普遍的価値基準

人間の存在を支える究極的基準

= 「生きているか否か」

後発開発途上国における開発政策の目的

= 「生存が保障される社会の創出」

・「従来型アプローチ」の問い直し

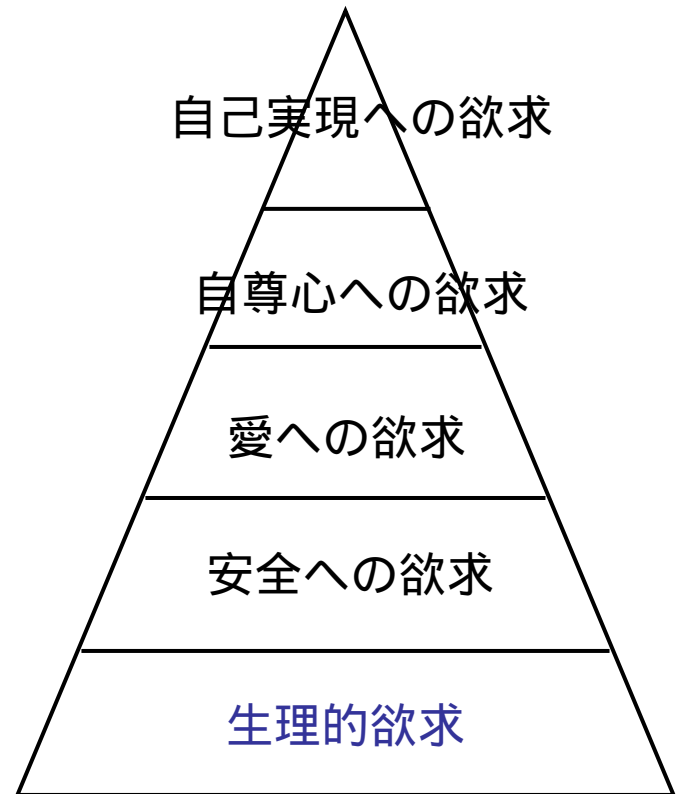
-2. 脱「従来型アプローチ」

「基本的欲求の不動性」

A. Maslowの欲求のピラミッド

“私が現場研究で学んだ最初の最も重要な教訓は、インディアンはまず第一に人であり、個人であり、人間であり、第二義的にのみブラック・フット・インディアンであるということだった。相違点はあることは確かだが、表面的なものであるように思われた。”

(出典)A. マズロー『人間性の心理学』産業能率大学出版部、1987、p.142; 右図、p.80-87より発表者作成





・「従来型アプローチ」の問い直し
-2. 脱「従来型アプローチ」

後発開発途上国における開発政策の目的
= 「生存が保障される社会の創出」

「生存の保障」を目的とした開発政策とは？

= **教育の特性**に注目

- 空間的ダイナミズム
- 時間的ダイナミズム
- 創造的ダイナミズム



・「生存の保障」を目的とする教育政策
-1. 教育開発戦略の変遷

「手段 (T. Schultz)」から「目的 (A. Sen)」へ

人的資本論 T. Schultz

・経済成長率 = 自然資源 × 労働 × 資本 + (残差要因 = 人的資本)

・教育支出 = not 経常消費 but 長期投資

経済成長の促進手段のひとつとしての教育開発

・教育開発政策の目標 = High Level Man Powerの養成

高等/職業/技術教育 > 初等教育



・「生存の保障」を目的とする教育政策

-1. 教育開発戦略の変遷

「手段 (T. Schultz)」から「目的 (A. Sen)」へ

潜在能力アプローチ A. Sen

・経済指標に基づく従来の開発観とは異なる視点の導入

従来の指標: 実質所得「富裕」、欲望の充足「効用」

新たな概念: 人が実現し得る生き方「福祉」、

人が持つ潜在的生き方の集合「好機」

“「富裕」や「効用」は「福祉」と「好機」を生み出す手段であり、
それらを証拠だてるものでしかない”

経済成長 = 手段、善く生きること = 目的



・「生存の保障」を目的とする教育政策
-2. 「基礎教育」の再定義

潜在能力アプローチに基づく教育開発政策とは？

潜在能力アプローチの目標 =

人の福祉の増進のために人間生活の改良の道具を鍛えること
= ひとが選択的に実現する生き方を向上させること

- ・対象: すべての人
- ・内容: 人が選択的に生きていくうえで必要な基礎能力の育成
初等学校教育のもつ可能性

*初等学校総就学率@SSA: 男子80%, 女子67%('95-'99) 中等学校: 男子28%, 女子22%('95-'97)

*初等学校総就学率@Tanzania: 男子77%, 女子76%(同上) 中等学校: 男子6%, 女子5%(同上)

*中・高等教育機関@Tanzania: 総合大学9校 + 単科大学7校 / 人口約3386万人、都市部に集中



・「生存の保障」を目的とする教育政策
-2. 「基礎教育」の再定義

潜在能力アプローチに基づく教育開発政策とは？

初等学校教育 + 保健・衛生教育 = “**基礎教育**”

人間の存在を支える普遍的な前提として、また「人間の福祉」を増進させる基盤としての「生存の保障」

	SSA	先進工業国
乳児死亡率(%)	10.7	0.6
5歳未満時死亡率(%)	17.3	0.6
平均寿命(歳)	49	78

(出典) ユニセフ『2001年 世界子供白書』ユニセフ駐日事務所、2000より発表者作成



・「生存の保障」を目的とする教育政策
-2. 「基礎教育」の再定義

基礎教育の困難性

従来型教育開発との相違点 = 対象層の広さ

経済力の違い、居住地域の違い

基礎教育に対する教育開発は、教育インフラやカリキュラムなどの直接的に教育に関する問題のみならず、教育領域外の問題も同時に考慮していく必要がある

基礎教育政策実施に際して必要となる資本整備

直接教育資本 (Direct Educational Resource; DER) +

間接教育資本 (Indirect Educational Resource; IER) =

“基礎教育資本”

・「生存の保障」を目的とする教育政策
-2. 「基礎教育」の再定義

基礎教育と基礎教育資本の関係

基礎教育 = 初等学校教育 + 保健・衛生教育

基礎教育資本 = 直接教育資本 (DER) + 間接教育資本 (IER)

教育インフラ(学校施設等)
教育ソフト(カリキュラム、教員等)

衛生・栄養環境
(衛生施設、栄養状態等)



基礎教育開発政策の実施体制

広範囲に及ぶ基礎教育 / 基礎教育資本 セクター別アプローチの限界 保健・衛生教育 / IERの焦点化

【E. Barnettらの保健教育に対する提言】

1. 保険セクターと教育セクターの明確な結びつきを確立する
2. 児童の必要と関心に基づいたカリキュラムを作成する
3. 知識の提供だけでない、教育方法を確立する
4. 教員の養成を十分に行う
5. 学校と一般の保健・衛生環境を改善する

連携の重要性

教育セクター内の問題

保健セクター内の問題

(出典) E. Barnett, K. de Koning, V. Francis “Health and HIV/AIDS Education in Primary and Secondary Schools in Africa and Asia” Knowledge & Research Series No.14, Department For International Development, 1995より発表者抜粋・編集



・基礎教育開発政策の実施体制

広範囲に及ぶ基礎教育/基礎教育資本 セクターを超えた包括的調整主体の必要

- ・国内外の非政府組織や援助機関...プロジェクトベースの短期的部分的活動
- ・当事国政府...包括的長期的な政策調整能力 = “**スイッチ機能**”

義務教育への可能性
対象 = 「すべてのひと」

非政府組織や援助機関からの
「支援」を「政策」の一部へと転換

基礎教育開発政策の実施体制:

政府レベルにおけるセクター間連携事業として

・セクター間連携に関する実証的検討

-1. 事例分析による作業仮説の導出

		現状・問題点	分析・提言
基礎教育	教育 初等学校	視察@公立小学校、UNICEF-sites + インタビュー@教育省 統計的データへの疑問・不審	「就学率」に代わる指標の必要 「初等学校実質修了率」later
	教育 保健衛生	インタビュー@教育/保健省、学校 + 教科書分析(3教科) 比較的充実	・複数教科間での内容の重複 ・複数学年間での内容の重複 問題なし
基礎教育資本	DER	学校施設や教員などの DER要素の不足	「学校」「教員」の絶対数の不足 教育セクター(教育省)からの支援
	IER	保健・衛生教育が活かされない 生活環境 + 児童の悪栄養状態 IER要素の不足	「保健・衛生施設」「栄養状態」の問題 保健セクター(保健省)からの支援

・セクター間連携に関する実証的検討

-1. 事例分析による作業仮説の導出

問題点の総括:

- ・「就学率」への不審 後に言及
 - ・DERの不足
 - ・IERの不足
- 「資本不足」の問題
- ↓
- 適正配分の必要 連携による効率化

作業仮説

教育セクターと保健セクターの間で協力的に資本整備が行われれば、基礎教育を身につけ、初等学校を修了する児童の数は上昇する。



・セクター間連携に関する実証的検討
-2. 計量分析による仮説の検証

-2-1. 変数の設定

■分析対象: Human Development Index(HDI)@UNDP

= { 出生時平均余命 + 成人識字率 (2/3加重) および初・中・高の総就学率 (1/3)
+ 一人当たり実質GDP } / 3

HDI低位国 (36カ国)

■DER: 教員数 / 一児童、学校数 / 一児童

■IER: 衛生施設へのアクセス率、安全な水へのアクセス率、非-栄養不良児率

* 可能な限り農村地域のデータを使用 都市との格差、人口の80%が農村民

* 使用データを国連グループ内のものに限定



・セクター間連携に関する実証的検討

-2. 計量分析による仮説の検証

-2-1. 変数の設定

■ “実質初等学校修了率”

(Practical Primary Completion Ratio; PPC率)

= 出席率 × G5進級率

* 可能な限り男女別データを使用 男女間格差

「修了」= 生存を保障するための教育である基礎教育の習得

「PPC率」= 教育的側面から生存の保障を受けた児童の割合

“基礎教育 = すべての人を対象とする” 100%を理想とする

セクター間連携に関する実証的検討

-2. 計量分析による仮説の検証

COUNTRIES	PUPILS	TEACHING-STAFFS	SCHOOLS	WATER (%)	SANI-TATION (%)	NON-LOW-WEIGHT (%)	ENROLMENT (%)		ATTENDANCE (%)		G5 (%)
							boys	girls	boys	girls	
Angola	40	30	58	34
Benin	779329	13957	3072	55	6	71	75	50	52	34	64
Burkina Faso	700995	14037	3233	...	16	64	40	28	38	28	68
Burundi	518144	10316	1501	63	38	37	74
Central African Rep.	46	23	73	51	27	70	55	24
Chad	680909	10151	2660	26	13	61	65	39	44	29	59
Cote d'Ivoire	1735814	40529	7599	65	...	76	63	47	59	46	70
Eritrea	240737	5476	549	42	1	56	40	35	39	35	71
Ethiopia	4007694	92775	10256	13	6	53	43	28	51
Gambia	124513	4118	258	53	35	74	64	55	51	43	74
Guinea	674732	13883	3723	36	41	...	49	30	39	26	78
Guinea-Bissau	100369	55	34	77	58	32	20
Madagascar	1638187	44145	13325	31	30	60	67	69	58	60	40
Malawi	2887107	49138	3706	44	70	70	100	100	83	83	34
Mali	862875	10853	2511	61	58	60	47	33	45	36	84
Mauritania	312671	6225	2392	40	19	77	61	53	55	53	66
Mozambique	1415428	24575	4167	43	26	74	47	40	53	47	46
Niger	482065	11545	3175	56	5	50	30	19	31	21	66
Nigeria	39	45	69	38	33	60	58	80
Rwanda	40	8	73	67	68	61	61	60
Senegal	1026570	18373	3884	65	48	78	65	55	48	42	82
Sierra Leone	31	31	71
Tanzania, U. Rep. of	4057965	109936	11290	42	86	73	56	57	61	68	81
Togo	859574	18535	3283	38	17	75	85	61	73	64	60
Uganda	2912473	82745	10000	46	72	74	92	83	65	63	55
Zambia	1506349	38528	3883	48	64	76	85	86	74	74	84
Bangladesh	97	44	44	80	83	75	76	70
Bhutan	60	70	62	58	47	86
Djibouti	36896	1096	72	100	50	82	39	28	73	62	83
Haiti	45	16	72	66	66	68	69	41
Lao People's Dem. Rep.	786335	25831	7896	59	34	60	80	72	70	67	57
Nepal	3447607	89378	22218	80	20	53	79	60	80	60	44
Pakistan	84	42	74	84	60	71	62	50
Sudan	3000048	102987	11158	69	48	66	43	37	59	52	76
Yemen	2699788	90478	...	64	31	54	79	39	75	40	74

・セクター間連携に関する実証的検討
 -2. 計量分析による仮説の検証

-2-1. 変数の設定

■ DERの指数化
 (主成分分析)

説明された分散の合計

成分	初期の固有値(共分散行列)		
	合計	分散の%	累積%
行 1	0.32	90.94	90.94
2	3.18E-002	9.06	100.00

因子抽出法: 主成分分析(SPSS使用)

成分行列

	行成分	
	1	2
TeachingS/P	0.57	0.00
Schools/P	-0.01	0.18

因子抽出法: 主成分分析(SPSS使用)

■ IERの指数化
 (主成分分析)

説明された分散の合計

成分	初期の固有値共分散行列		
	合計	分散の%	累積%
行 1	57858	59.47	59.47
2	31035	31.90	91.37
3	8400	8.63	100.00

因子抽出法: 主成分分析(SPSS使用)

成分行列

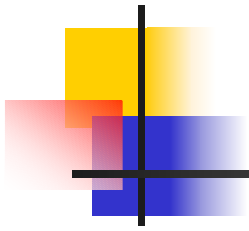
	行成分		
	1	2	3
Water	1226	1504	0.97
Sanitation	2058	-863	-1.54
NrLowWght	220	-309	8.98

因子抽出法: 主成分分析(SPSS使用)

セクター間連携に関する実証的検討

-2. 計量分析による仮説の検証

COUNTRIES	DER			IER				VPCR %(Att.*G5/100)		
	Teaching S.s/Pupil*100	Schools/Pupil*100		Water	Sanitation	Non Low Weight		boys	girls	average
Angola	40.00	30.00	58.00	-0.02
Benin	1.79	0.39	-1.48	55.00	6.00	71.00	-0.04	33.28	21.76	27.52
Burkina Faso	2.00	0.46	-0.83	...	16.00	64.00	...	25.84	19.04	22.44
Burundi	1.99	0.29	-0.84	63.00
Central African Rep.	46.00	23.00	73.00	-0.02	16.80	13.20	15.00
Chad	1.49	0.39	-2.42	26.00	13.00	61.00	-0.07	25.96	17.11	21.54
Cote d'Ivoire	2.33	0.44	0.22	65.00	...	76.00	...	41.30	32.20	36.75
Eritrea	2.27	0.23	0.05	42.00	1.00	56.00	-0.07	27.69	24.85	26.27
Ethiopia	2.31	0.26	0.18	13.00	6.00	53.00	-0.09
Gambia	3.31	0.21	3.29	53.00	35.00	74.00	0.00	37.74	31.82	34.78
Guinea	2.06	0.55	-0.67	36.00	41.00	30.42	20.28	25.35
Guinea-Bissau	55.00	34.00	77.00	0.01
Madagascar	2.69	0.81	1.29	31.00	30.00	60.00	-0.03	23.20	24.00	23.60
Malawi	1.70	0.13	-1.73	44.00	70.00	70.00	0.05	28.22	28.22	28.22
Mali	1.26	0.29	-3.14	61.00	58.00	60.00	0.04	37.80	30.24	34.02
Mauritania	1.99	0.77	-0.90	40.00	19.00	77.00	-0.03	36.30	34.98	35.64
Mozambique	1.74	0.29	-1.64	43.00	26.00	74.00	-0.02	24.38	21.62	23.00
Niger	2.39	0.66	0.38	56.00	5.00	50.00	-0.05	20.46	13.86	17.16
Nigeria	39.00	45.00	69.00	0.00	48.00	46.40	47.20
Rwanda	40.00	8.00	73.00	-0.05	36.60	36.60	36.60
Senegal	1.79	0.38	-1.48	65.00	48.00	78.00	0.04	39.36	34.44	36.90
Sierra Leone	31.00	31.00	71.00	-0.03
Tanzania, U. Rep. of	2.71	0.28	1.41	42.00	86.00	73.00	0.07	49.41	55.08	52.25
Togo	2.16	0.38	-0.34	38.00	17.00	75.00	-0.04	43.80	38.40	41.10
Uganda	2.84	0.34	1.81	46.00	72.00	74.00	0.06	35.75	34.65	35.20
Zambia	2.56	0.26	0.94	48.00	64.00	76.00	0.05	62.16	62.16	62.16
Bangladesh	97.00	44.00	44.00	0.05	52.50	53.20	52.85
Bhutan	60.00	70.00	62.00	0.06
Djibouti	2.97	0.20	2.24	100.00	50.00	82.00	0.08	60.59	51.46	56.03
Haiti	45.00	16.00	72.00	-0.04	27.88	28.29	28.09
Lao People's Dem. Rep.	3.28	1.00	...	59.00	34.00	60.00	0.00	39.90	38.19	39.05
Nepal	2.59	0.64	...	80.00	20.00	53.00	0.00	35.20	26.40	30.80
Pakistan	84.00	42.00	74.00	0.05	35.50	31.00	33.25
Sudan	3.43	0.37	3.66	69.00	48.00	66.00	0.04	44.84	39.52	42.18
Yemen	3.35	64.00	31.00	54.00	0.00	55.50	29.60	42.55

- 
- . セクター間連携に関する実証的検討
 - 2. 計量分析による仮説の検証
 - 2-2. 相関分析

分析の目的: 作業仮説の証明

“教育セクター (DER) と保健セクター (IER) の間で協力的に資本整備が行われれば、PPC率は上昇する”

男女別に“DER-PPC率間”および“IER-PPC率間”の相関関係を確認

セクター間連携に関する実証的検討

-2. 計量分析による仮説の検証

男子DER/IER-PPC率

DER-PPC : 0.43($p < 0.10$)中

IER-PPC : 0.61($p < 0.01$)強

DER-男子PPC率間の相関係数

		PPC-R.boys	DER
PPC-R.boys	Pearsonの相関係数	1.00	0.43*
	有意確率(両側)		0.06
	N	29	20
DER	Pearsonの相関係数	0.43*	1.00
	有意確率(両側)	0.06	
	N	20	22

*相関係数は10%水準で有意(SPSS使用)

IER-男子PPC率間の相関係数

		PPC-R.boys	IER
PPC-R.boys	Pearsonの相関係数	1.00	0.61*
	有意確率(両側)		0.01
	N	29	26
IER	Pearsonの相関係数	0.61*	1.00
	有意確率(両側)	0.01	
	N	26	31

*相関係数は1%水準で有意(SPSS使用)

女子DER/IER-PPC率

DER-PPC : 0.46($p < 0.05$)中

IER-PPC : 0.65($p < 0.01$)強

DER-女子PPC率間の相関係数

		PPC-R.girls	DER
PPC-R.girls	Pearsonの相関係数	1.00	0.46*
	有意確率(両側)		0.04
	N	29	20
DER	Pearsonの相関係数	0.46*	1.00
	有意確率(両側)	0.04	
	N	20	22

*相関係数は5%水準で有意(SPSS使用)

IER-女子PPC率間の相関係数

		PPC-R.girls	IER
PPC-R.girls	Pearsonの相関係数	1.00	0.65*
	有意確率(両側)		0.00
	N	29	26
IER	Pearsonの相関係数	0.65*	1.00
	有意確率(両側)	0.00	
	N	26	31

*相関係数は1%水準で有意(SPSS使用)

平均DER/IER-PPC率

DER-PPC : 0.45($p < 0.05$)中

IER-PPC : 0.65($p < 0.01$)強

DER-平均PPC率間の相関係数

		PPC-R.ave.	DER
PPC-R.ave.	Pearsonの相関係数	1.00	0.45*
	有意確率(両側)		0.05
	N	29	20
DER	Pearsonの相関係数	0.45*	1.00
	有意確率(両側)	0.05	
	N	20	22

*相関係数は5%水準で有意(SPSS使用)

IER-平均PPC率間の相関係数

		PPC-R.ave.	IER
PPC-R.ave.	Pearsonの相関係数	1.00	0.65*
	有意確率(両側)		0.00
	N	29	26
IER	Pearsonの相関係数	0.65*	1.00
	有意確率(両側)	0.00	
	N	26	31

*相関係数は1%水準で有意(SPSS使用)



・セクター間連携に関する実証的検討 -2. 計量分析による仮説の検証

分析結果の総括：

- ・ 一般に教育開発といえはDERの整備が叫ばれるが、実質的な修了率(PPC率)に対しては、DERよりもIERの方が強い相関を持つ。
- ・ DER、IERともに男子に比して女子の相関の方が高く、女子への就学機会の提供が重要であることが示されている。

作業仮説の証明(終)：

“教育セクター(DER)と保健セクター(IER)の間で協力的に資本整備が行われれば、PPC率は上昇する”



・セクター間連携に関する実証的検討
-2. 計量分析による仮説の検証

本分析の限界と課題

(限界)

- ・各要素へのデータ上の制約...採用できる要素の種類が限定的
- ・指標間の関係の確認に留まる...要素間の関係は不明

(課題)

- ・現地調査によるデータ収集...スクールマッピングを手がかりに
- ・要素間の関係の確認...共分散構造分析等による試み